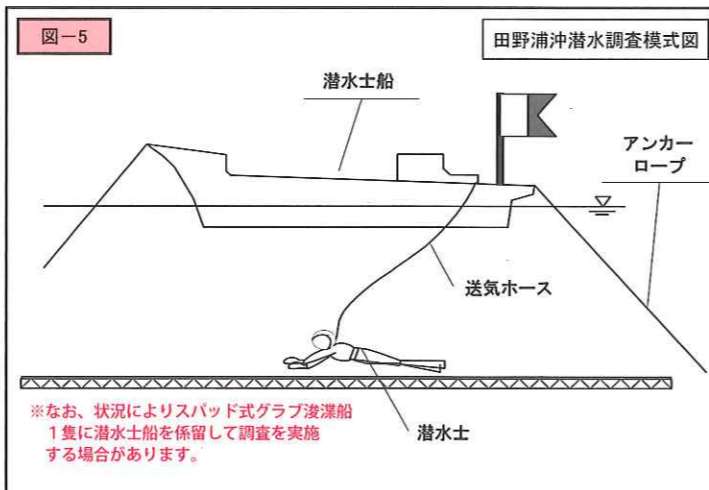
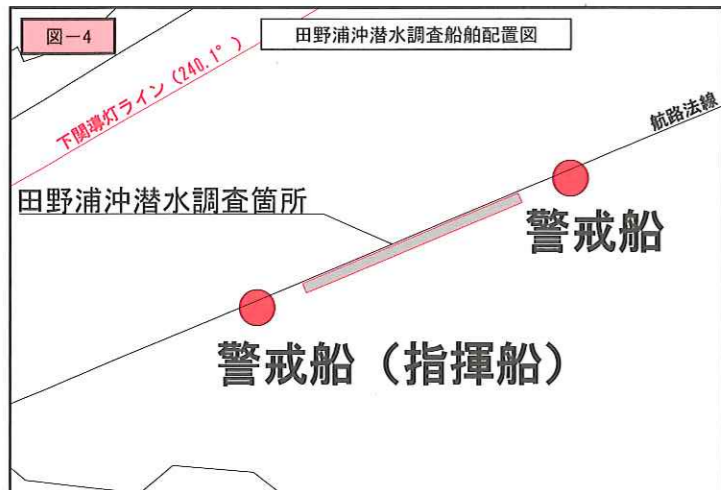
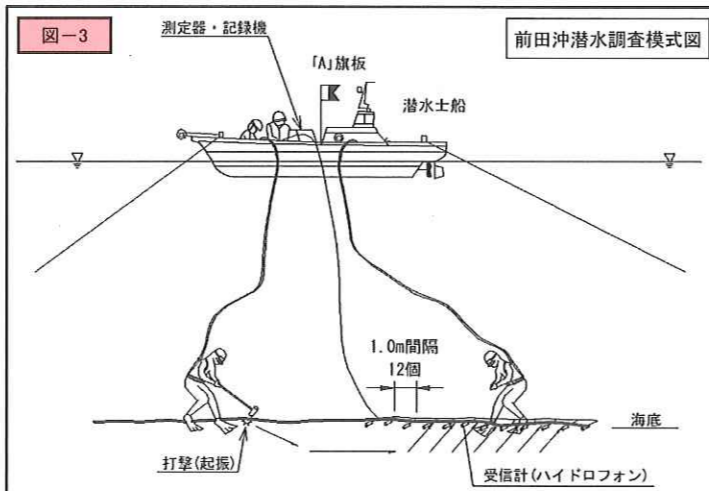
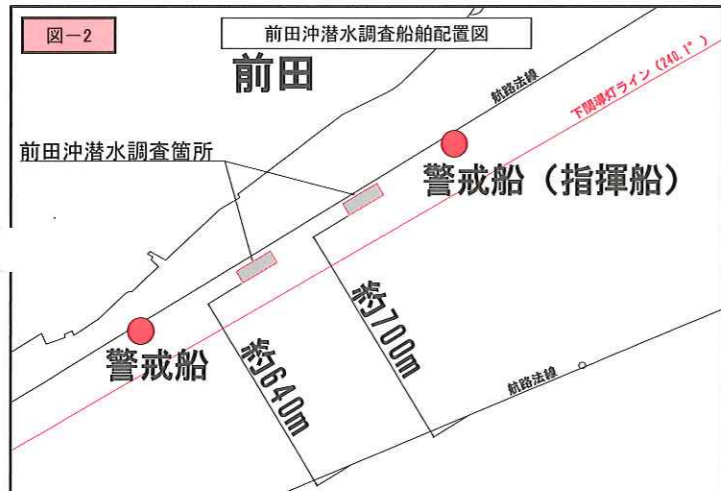


関門航路【早鞆瀬戸地区・前田沖及び田野浦沖】潜水調査のお知らせ

次のとおり、関門航路【早鞆瀬戸地区・前田沖及び田野浦沖】の潜水調査を実施しますので、付近を航行する船舶は十分注意して下さい。

九州地方整備局 関門航路事務所 TEL 093-512-8099
 建設管理官室 FAX 093-512-8106
 本資料は、下記のホームページでもダウンロードできます。
<http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kanmon>



1. 作業期間

地区名	種別	作業船種	隻数	期間予定(※1)	作業時間	対策
前田沖	潜水調査	潜水士船	1隻	平成27年3月上旬～平成27年3月下旬	日の出～日没	警戒船 2隻 広報船 1隻
田野浦沖			3隻(最大)	平成27年3月上旬～平成27年3月下旬	日の出～日没	警戒船 2隻 広報船 1隻

- ※1 作業の予定時間は一部重なっていますが、同時作業は行いません。
- ※2 前田沖潜水調査の作業時間(現地潮流2ノット以下)の潮流信号所の表示の目安は、4ノット以下となります。なお、潮流信号所の表示は目安であり、目安の表示を超えた場合においてもそれぞれ現地潮流2ノット以下の場合には作業を実施していますので、調査箇所場所付近を航行する際は、ご注意ください。
- ※3 田野浦沖潜水調査の作業時間は、日の出～日没の間で、火の山潮流信号所の表示が4ノット以下の場合にのみ実施するもので、日々の作業時間が変わります。

2. 作業概要

- 2-1 潜水調査(前田沖)(図-1, 2, 3参照)
潜水士船から潜水士が2名潜り、計測機器により海底地盤の強度を測定します。なお、作業については、潜水士船1隻により1箇所ずつ実施します。
- 2-2 潜水調査(田野浦沖)(図-1, 4, 5参照)
潜水士船(最大3隻)から各々潜水士が1～2名潜り、目視により海底地盤の状況を確認します。なお、状況によってはスパッド式グラブ浚渫船1隻に潜水士船を係留して調査を実施する場合があります。

3. 安全対策

- 3-1 潜水探査(前田沖)(図-2, 3参照)
 - 潜水士船には国際信号旗(A旗板)を掲げ、潜水作業中であることを航行船舶に明示します。
 - 潜水作業中は、警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を掲げた警戒船(2隻)を潜水士船団の周辺に配備します。
 - 潜水士船は可航幅が広くなるように配慮し、下関前灯と後灯を結ぶ延長線(240.1°線)と概ね平行に配置します。
 - 潜水作業中は探査区域の四隅に俵ブイを設置します。
- 3-2 潜水調査(田野浦沖)(図-4, 5参照)
 - 潜水士船には国際信号旗(A旗板)を掲げ、潜水作業中であることを航行船舶に明示します。
 - 潜水作業中は、警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を掲げた警戒船(2隻)を潜水士船団の周辺に配備します。
 - 潜水士船は可航幅が広くなるように配慮し、北九州側航路法線と概ね平行に配置します。
 - 潜水作業中は探査区域の四隅に俵ブイを設置します。

4. 通航船へのお願い

- 関門航路を航行するVHF装備船舶は、常時VHF16chを聴取するとともにこれを活用して下さい。
- AIS搭載船にあたっては、AISを正しく運用してください。
- 潜水探査及び浚渫工事中に作業現場付近を航行する場合は、操船に影響のない範囲で速力を減速すると共に、出来る限り作業船団から離れて航行してください。
- 作業区域周辺での他船の追い越しは行わないで下さい。
- 本調査作業中は広報船を配置していますので、その存在を確認した際には、作業をおこなっていると認識して下さい。(図-1参照)
- 田野浦沖潜水調査の作業実施中に田野浦岸壁に入港する東航船は、作業船の東側に迂回して入港する等、十分注意して航行して下さい。

作業情報について

以下のとおり、本調査に関する問い合わせ先を記載します。問い合わせにあたっては、可能な限り日本語をお願いします。週間作業予定(1週間前掲載)及び日毎の作業予定は、以下に記載するHPに掲載しますので運航の際の参考にしてください。

●関門支援業務室 作業情報に関する問い合わせ先
 TEL 083-222-1333 E-mail kanmonanzen@sweet.ocn.ne.jp
 FAX 083-222-1334 H P <http://www8.ocn.ne.jp/~kanmon>